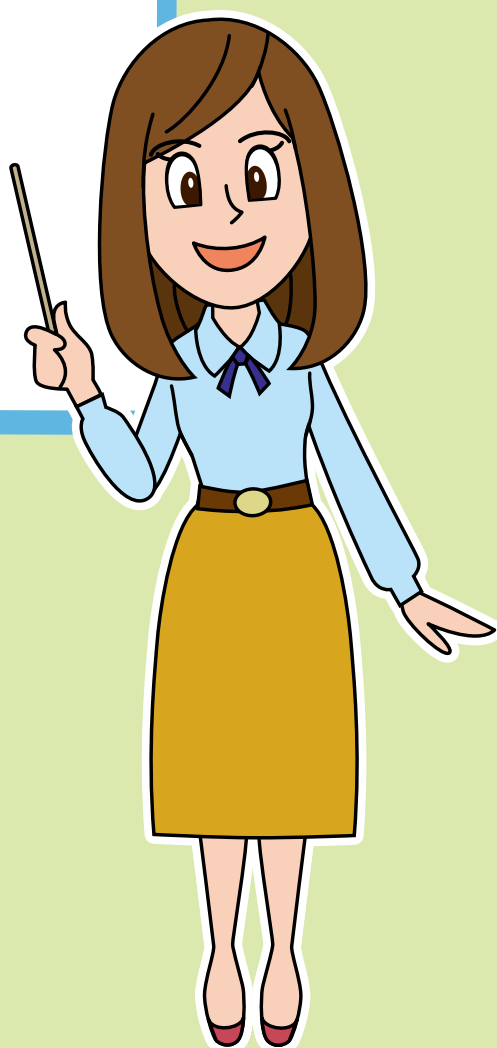
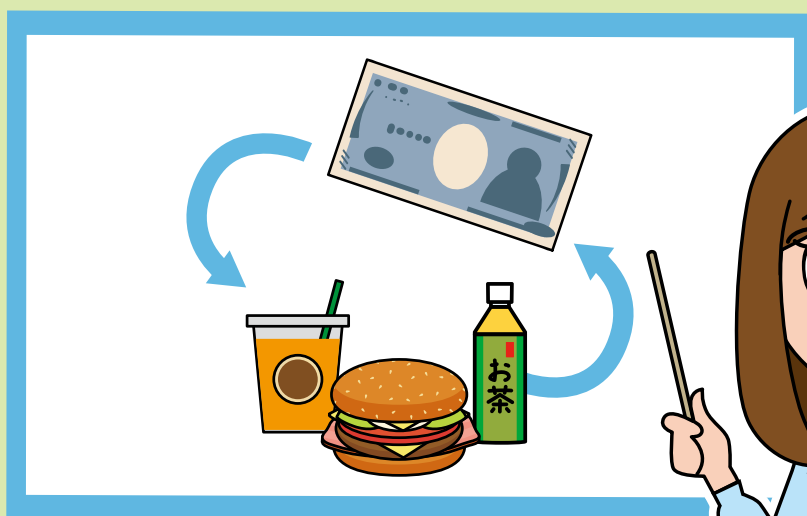




# お金って なに？

学習指導案





# 「お金ってなに？」学習指導案

## 概要:

### 1) 教科・単元名: 家庭科・消費生活と環境

#### ①家庭科の教科目標:

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知識・技能)

(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(思考力・判断力・表現力等)

(3) 家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。(学びに向かう力・人間性等)

#### ②C 消費生活・環境の内容:

次の(1)及び(2)の項目について、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

#### (1) 物や金銭の使い方と買物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。(知識・技能)

(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。(思考力・判断力・表現力等)

#### (2) 環境に配慮した生活

ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。(知識・技能)

イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。(思考力・判断力・表現力等)



### ③学習指導要領改訂のポイント：

今回の改訂では、小学校と中学校の内容の系統性を図り、自立した消費者を育成するために、消費者教育に関する内容の一層の充実を図っている。小学校では、「買物の仕組みや消費者の役割」を新設し、中学校における「売買契約の仕組み」や「消費者の基本的な権利と責任」、「消費者被害の背景とその対応」の基礎となる学習ができるようにしている。また、これまでと同様に消費生活と環境に関する学習の関連を図ることにより、限りある物や金銭が大切であることや、自分の生活が身近な環境に与える影響に気付き、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に生活を工夫できる消費者としての素地を育てることを意図している。

### 2)対象学年：小学校5年生または6年生

3)ねらい：交換・貯蓄・尺度というお金の基本的な機能や売買契約などのお金の基本的なルールを知るとともに、必要なときに必要なカタチへ姿を変えることで生活を助けてくれるお金の大切さに気づき、その大切なお金の計画的で適切な使い方を考えることができるようにする。

### 4)修得したいこと：

修得したいこと		
① 知識・技能	● ものや金銭の大切さを理解する	・ ものや金銭が生活を支えていること ・ 限りある収入 ・ お金の基本的な機能
	● 買い物の仕組みについて理解する	・ 売買契約の基礎 ・ 多様な買い方、支払い方
	● 消費者の役割について理解する	・ SDGsの視点 ・ 無駄のない消費
	● ものや金銭の計画的な使い方を理解する	
	● 身近なものの選び方や買い方を理解する	
	● 情報の収集、整理の仕方を理解する	
② 思考力・判断力・表現力等	● 多様な視点から身近なものの選び方を工夫することができる	
	● 多様な視点から身近なものや欲しいもの、必要なものの買い方を工夫できる	
	● 様々な情報を活かしてものの選び方や買い方を工夫することができる	
③ 学びに向かう力・人間性等	● 消費生活や環境へ関心を持って自ら学ぼうとする	
	● 自分なりのものの選び方や買い方がわかり、それを積極的に自身の生活に活かそうとする	



小単元1 お金ってなに？	
活動内容	活動のねらい
(1) お金が必要な理由について考える	・お金に対する既存概念を揺さぶり、学習への関心を高める
(2) お金の一般的な機能を体感するためのゲームを行う	・ゲーム①: 物々交換の難しさを体感する ・ゲーム②: お金の便利さを体感する
(3) 資料をもとにお金の基本的な機能について理解する	・交換機能、貯蓄機能、尺度機能について理解する
(4) 日常生活を振り返り、生活にかかるお金について考える	・様々なものにお金がかかっていることに気づく
(5) 資料をもとに日常生活の多くのものがお金と交換されていることに気づく	・目に見える有形のものだけでなく、多くの無形のものとお金が交換されていることに気づく(消費、投資) ・互助の仕組みがあることを知る
(6) お金が日常生活に欠かせない大切なものであることに気づく	・お金は様々なものと交換できたり、貯蓄できたりして便利だからこそ、現代社会の日常生活に欠かせないツールになっていることに気づく ・お金は有限であることを理解する
(7) お金が必要な理由について振り返り、まとめる	・お金は必要なときに必要なものと交換できる便利なもので、有限だからこそ、大切であることを理解する ・大切なお金には様々な想いが込められていることに気づく



小単元2 お金の使い方の多様化	
活動内容	活動のねらい
(1) 前時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返りお金の大切さを再認識する</li> </ul>
(2) 現代のお金はどのようなかたちに姿を変えているか考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自身がどんな方法で商品を買ったり、お金を払ったりしたことがあるか振り返る</li> </ul>
(3) 現代のお金の様々なかたちを、資料をもとに理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカードやIC カード、商品券、PayPay など、多様な支払いの方法があることを理解する</li> <li>・様々な支払い方のメリットとデメリットを理解する</li> <li>・お金の成り立ちについて資料をもとに理解する</li> </ul>
(4) お金はどのようなかたちになっても信用とルールで成り立っていることに気づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かたちは多様化していても、お金としての価値やそれが信用で成り立っていることは変わらないことに気づく</li> <li>※買い物のロールプレイをすることで信用とルールの必要性を認識するとより効果的</li> </ul>
(5) 売買契約の基礎について資料(問題)をもとに理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものの交換(売買)にはルール(売買契約)があり、売る側と買う側双方がルールを守る必要があることを理解する</li> <li>・売買契約の成立するタイミングを理解する</li> <li>・売買契約が成立した後の、売る側と買う側双方の責任について理解する</li> </ul>




小単元3 もの選び方、買い方	
活動内容	活動のねらい
(1) 前時までの振り返り	・前時を振り返りお金の大切さとお金のルールを再認識する
(2) クラスや家族、自分に必要なもの、欲しいものを考える	・本当に欲しいものはなにか、なぜ必要なのかをそれぞれで考える
(3) 欲しいものごとにグループをつくり、インターネットを活用しながら実際にものを選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欲しいものが同じ児童がいる場合はグループをつくり協力しながら進める(一人で進めることも可)</li> <li>&gt;&gt;&gt; インターネットでの購入が変革(情報リテラシーとの関係)</li> <li>・調べたことの途中経過を共有し、様々なものの選び方や買い方があることに気づく</li> </ul>
(4) ほしいものを選び、発表する活動を通して、ものの選び方や買い方にはたくさんの選択肢があることに気づく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでの買い物や多様な支払い手段にも気づけるようにする</li> <li>・JISマーク等の買い物の判断基準になるものを、資料をもとに理解する</li> <li>・「安いものが良い」とならないようSDGsの視点に気づく</li> <li>&gt;&gt;&gt; ワークシート</li> </ul>
(5) ものの選び方や買い方について、資料をもとに理解を深める	
(6) 買い物名人5か条をつくり、本単元をまとめる	







## 6)指導計画案

### 小单元1(1時間目)

ねらい:お金の基本的な機能が生活を便利にしていることや使えるお金には限りがあることを知り、お金の大切さを理解する

	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
導入		<p><b>(1)学習課題をつかむ</b></p> <p>○お金が大切かどうか考える</p> <p>問:みなさんはお金って大切だと思いますか?</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思う!</li> <li>・思わない!</li> </ul>	<p>◆「お金は大切」という意見を児童から引き出す</p>
		<p>○お金がなぜ大切か考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金が大切な理由について考え、なぜお金が大切なのか分からない」ということに気づく</li> </ul> <p>問:ではなぜお金は大切なのでしょう</p> <p>か?</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金があれば欲しいものが買えるから</li> <li>・わからない</li> </ul>	<p>◆「お金がなぜ大切かよく考えてみるとわからない」という「?」を児童から引き出す</p> <p>◆「お金は大切」という児童の当たり前に揺さぶりをかけ、学習への意欲を高める</p> <p>◆まず自分の意見を考え、全体の意見を聞く</p> <p>◆何人かに異なる意見を聞くことで、「わからない」ことを共有する</p> <div>△ 1 時間目ワークシート</div>
		<p>○学習課題(問い)を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お金がなぜ大切かわからない」という意見を全体に共有し、「なぜお金が大切か考える」という学習課題を確認する</li> </ul> <p>問:よく考えてみるとなぜお金が大切なのかはわかりません。今日の授業では、この「なぜお金は大切なのか」について考えてみましょう。</p>	<p>◆児童から引き出した「なぜお金が大切なのか」という問いをクラス全体で共有することで、本時の学習課題を明確にする</p> <p>◆めあてを板書し、児童はめあてをワークシートに書く</p> <div>△ 1 時間目ワークシート</div>
		めあて:お金が大切な理由について考えよう	




	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
展開	   	<p><b>(2)物々交換の大変さを実感する</b></p> <p>○お金が流通する前は物々交換で生活を成り立たせていたことを確認する</p> <p>○ゲーム「カレーをつくろう」ver1を行う</p> <p>・ゲームを行い物々交換の大変さを実感する</p> <p>問:物々交換でカレーの材料を揃えてみましょう</p> <p>※ルールは別紙テキスト参照</p> <p>○物々交換の大変さをクラスで共有する</p> <p>・物々交換は大変だという意見をクラスで共有する</p> <p>問:カレーの材料を揃えられた人はいますか?</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できなかった</li> <li>・難しすぎる</li> </ul> <p><b>(3)お金の便利さに気づく</b></p> <p>○ゲーム「カレーをつくろう」ver2を行う</p> <p>・ゲームを行いお金の便利さを実感する</p> <p>問:今度はゲームにお金を導入してカレーの材料を揃えてみましょう</p> <p>※ルールは別紙テキスト参照</p>	<p>◆物々交換の時代から貨幣を使ってほしいものを手に入れる時代が変わっていった時代背景についてふれる</p> <p>△テキストP2</p> <p>◆時間を5分程度に設定し、多くの児童がカレーの材料を揃えられないようにする</p> <p>◆机間指導しながら、ルールがわからない場合は適宜サポート、材料を揃えるのが難しいという声かけをする</p> <p>◆児童に意見を聞きながら、「物々交換で材料を揃えるのは難しい」という意見を引き出す</p> <p>△1時間目ワークシート</p> <p>△テキストP3-4</p> <p>◆多くの児童が材料を揃えられるよう適宜声かけ、サポートする</p> <p>◆ゲームのver1とver2を比較し、「お金があると材料を揃えるのがとても簡単だった」という児童の意見を引き出すようにする</p> <p>△テキストP5</p>



	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
展開		<p>○ゲームのver 1 とver 2 を比較してお金の便利さに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物々交換は欲しいものとの交換が難しく、お金があることで、交換しやすくなっていることに気づく</li> </ul> <p>問：1 回目のゲームと比べて2 回目のゲームはどうでしたか？カレーの材料を揃えるのは難しかったですか？</p> <p>○ゲームの振り返りをしながらお金の「交換」という機能を理解する</p> <p>問：ゲームであったように、お金は色々なものと「交換」できるという便利な機能があるのですね。</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単にカレーの材料を揃えられた</li> <li>・お金はなんとでも交換できるから簡単だった</li> </ul> <p>○資料をみながらお金の「交換」「貯蓄」「尺度」という機能を理解する</p> <p>問：お金には「交換」という機能に加えて「貯蓄」と「尺度」という機能があります。</p> <p>問：こういった機能があることで便利に生活できるということですね。</p>	<p>◆児童はワークシートに自分の意見を書く</p> <p>◆色々なものと交換できるという機能は便利であることを強調する</p> <div>△1 時間目ワークシート</div> <p>◆交換、貯蓄、尺度というお金が持つ3つの機能について簡単に説明する</p> <div>△テキストP6</div>



	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
まとめ		<p><b>(4)お金が大切な理由についてまとめる</b></p> <p>○日常生活の多くのものがお金と交換されていること、だからこそお金が大切だということに気づく</p> <p>問:みなさんの生活の中で、お金と交換できるものは何があると思いますか？</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子</li> <li>・鉛筆</li> <li>・おもちゃ</li> <li>・電気</li> </ul> <p>○自分たちが使えるお金(収入)には限りがあることに気づくことでお金の大切さをより強く認識する</p> <p>問:自分たちが欲しいものを、何でも、好きなだけ買うことはできますか？</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できない</li> </ul> <p>問:それはなぜですか？</p> <p>生徒の回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使えるお金は限られているから</li> </ul> <p>○お金が大切な理由について振り返り、まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「交換」「貯蓄」「尺度」という生活を便利にする3つの機能があるからこそお金が大切であることを確認する</li> </ul> <p>問:お金は限りがあるけれど、生活をとて便利にしてくれる機能をもつものだからこそ大切なんですね。</p> <p>○本時の感想を書く</p>	<p>◆日常生活の様々なもの(有形、無形問わず)をお金と交換することで生活が成り立っていること、だからこそお金は日常生活に欠かせない大切なものであるということに気づけるようにする</p> <p>◆形のある「物」だけでなく、児童からは意見の出づらいサービスや目に見えないものとの交換にもお金が使われていることを捕捉する(または児童から引き出す)</p> <p>◆児童からは意見が出づらい互助の仕組み(行政の制度や保険など)などがあり、それにもお金が使われていることを伝える(資料)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△テキストP7</p> <p>△1時間目ワークシート</p> </div> <p>◆お金について困った時には相談窓口などが あることを伝える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△1時間目ワークシート</p> </div> <p>◆お金は生活を便利にする機能があり、生活に欠かせない上に、使えるお金には限りがあるからこそ大切であることをおさえる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△1時間目ワークシート</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△1時間目ワークシート</p> </div>



## 板書例:

めあて: お金が必要な理由を考えよう

### ●なぜお金が大切なのだろう？

・  
・  
・

### ●カレーをつくろうゲーム(ver1)をやってみよう

〇〇:〇〇まで

### ●ゲーム1(物々交換)をやってみて

・難しかった  
・揃わなかった  
・昔の人は大変

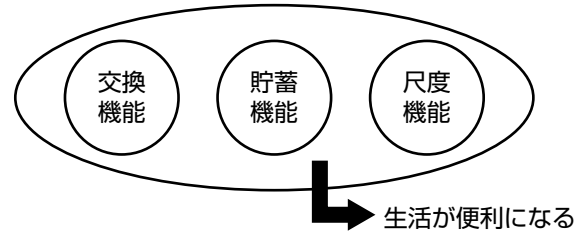
### ●カレーをつくろうゲーム(ver2)をやってみよう

〇〇:〇〇まで

### ●ゲーム1(物々交換)とゲーム2(お金を使った交換)を比べてみて

・物々交換より簡単だった  
・あっという間に欲しいものがそろった  
・お金って便利

### ●お金の基本的な機能



### ●私たちの生活でお金と交換できるものはなんですか？

・お菓子                      ・ジュース  
・電車賃                      ・ゲームの課金  
・ご飯                         ・遊園地の入園料

↓  
様々なものと交換できる

### ●好きなものを好きなだけ買っても良い？

・使えるお金は限られている




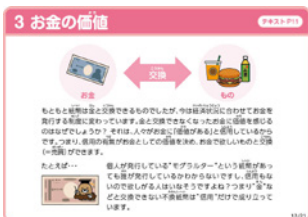
### ●まとめ

お金には生活を便利にする機能があり、私たちの生活を支えてくれていて、自分たちが使えるお金には限りがあるからこそ大切である。




## 小単元2(2時間目)

ねらい: お金の使い方や支払い方には多様な方法があることを知るとともに、お金を使うときには売買契約などのルールがあり、そのルールの基本的な内容について理解する

	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント ▲使用するもの
導入		<p><b>(1) 前時までの振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時を振り返りお金の大切さとお金のルールを再確認する</li> </ul> <p><b>(2) 学習課題をつかむ</b></p> <p>○「どうしてお金はものと交換できるのか?」という問いについて考えることで、お金の使い方について疑問を持つ</p> <p>○学習課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「具体的なお金の使い方(売買)のルールはわからない」という問いを共有し、「お金の使い方のルールを知る」という学習課題を共有する</li> </ul>	<p>◆限りあるお金が「交換」「貯蓄」「尺度」という3つの生活を便利にする機能を持っているため大切であることを再確認する</p> <p>◆お金の使い方(交換機能)は信頼により成り立っていることを念頭に置く</p> <p>▲2時間目ワークシート</p>
	めあて: お金の使い方のルールについて考えよう		
展開		<p><b>(3) 多様化するお金の支払い方を知る</b></p> <p>○どんな方法で商品を買ったり、お金を払ったりしたことがあるかこれまでの生活を振り返る</p> <p>○多様化する現代のお金の支払い方や買い物の仕方を資料で確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカードやICカード、商品券、PayPay など、多様な支払いの方法があることを理解する</li> </ul>	<p>▲2時間目ワークシート</p> <p>◆多様な買い方、支払い方を児童の体験から引き出すとともに、資料で確認する</p> <p>▲テキストP9</p>
	 	<p><b>(4) 売買の仕組みとルールを理解する</b></p> <p>○具体的な買い物の仕方を振り返って、売買は信用で成り立っていることに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金は「皆が信用していること」が前提で価値を持つことを理解する</li> </ul> <p>○売買契約の基礎について資料(問題)をもとに理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものの交換(売買)にはルール(売買契約)があり、売る側と買う側双方がルールを守る必要があることを理解する</li> <li>・売買契約の成立するタイミングを理解する</li> <li>・売買契約が成立した後の、売る側と買う側双方の責任について理解する</li> </ul>	<p>◆買い物のロールプレイをすることで信用の必要性を認識するとより効果的</p> <p>◆支払い方が多様化していても、お金としての価値やそれが信用で成り立っていることは変わらないことに気づく</p> <p>▲テキストP10</p> <p>◆買い物のロールプレイをすることでルールの重要性を認識するとより効果的</p> <p>◆資料をもとに確認する</p> <p>◆グループ内で各問題を協力して行い、結果を発表し合う</p> <p>▲テキストP11</p> <p>▲売買契約クイズ</p>

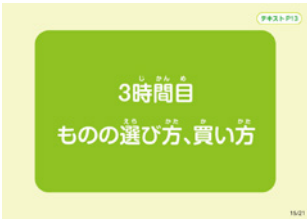




	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
展開			<p>◆売買契約クイズ回答例</p> <p>問題1            答え:電話で店の人が注文を承った            理由:消費者と事業者とが、お互いに契約内容(商品の内容・価格・引き渡し時期など)について合意をすれば契約は成立する            解説:書面でなくても契約は成立します。口頭や電話でも相手が承諾した時点で契約は成立します。ただし口頭だけの契約にはトラブルがつきものなので注意しましょう</p> <p>問題2            答え:3            理由:商品に不具合があった場合は不具合のない商品に交換するように求める事ができます            解説:返品するということは、売買契約を一方的に解約するということになります。そのため一般的な売買契約では購入者の都合での返品はできません。            ※事業者側のサービスで返品に応じる場合もあります</p>
まとめ		<p>(5)お金の使い方のルールについてまとめる</p> <p>○様々な買い方や支払い方にはそれぞれメリットとデメリットがあることを理解する</p> <p>○お金の使い方のルールについて振り返り、まとめる</p> <p>○本時の学習感想を書く</p>	<p>◆多様な買い物の仕方や支払い方にはそれぞれメリットやデメリットがあることを事例的におさえる</p> <p>◆ゲーム課金や生活費のクレジットカード利用など、1つずつの金額は少なくてもそれが積み重なれば大きな金額になることを捕捉する</p> <p>◆日常の積み重ねを意識することで貯蓄への意識を高める</p> <p>△テキストP12</p> <p>△2時間目ワークシート</p>




小単元3(3時間目)

ねらい:実際に買うものを選ぶ活動を通して、基本的なものの買い方や選び方を知り、自分なりのものの選び方や買い方を工夫できるようにする

	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
導入		<p><b>(1)前時の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時を振り返りお金の大切さを再確認する</li> </ul> <p><b>(2)学習課題をつかむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を確認する</li> <li>・「どのように物を選んだり買ったりするのか」という問いを共有し、「買う物を実際を選んでみよう」という学習課題を共有する</li> </ul>	<p>◆お金が大切な理由とお金を使うときのルールについて振り返る</p> <p>◆学校での学びを児童の生活に還していくため、具体的な活動へ展開していく</p> <p>△3時間目ワークシート</p>
	めあて:ものの選び方、買い方を考えよう		
展開		<p><b>(3)個人でだれに何をかうか考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人でクラスや家族、自分に、必要なものや欲しいものを考える</li> </ul> <p><b>(4)グループ(または個人)で買うものを選ぶ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○欲しいものごとにグループをつくり、インターネットを活用しながら実際にものを選ぶ</li> </ul>	<p>△テキストP14</p> <p>△3時間目ワークシート</p> <p>◆欲しいものが同じ児童がいる場合はグループをつくり協力しながら進める(個人ワークまたは、まずグループをつくり、グループ内でものを選ぶ形でも可)</p> <p>◆資料を活用しながら、本当に欲しいものはなにか、なぜ必要なのかを考えながら選ぶ(児童へのヒントはなしで、児童の発表後に資料で確認可)</p>
		<p><b>(5)選んだものを発表する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○選んだものを発表する活動を通して、ものの選び方や買い方にはたくさんの選択肢があることに気づく</li> </ul>	<p>△テキストP14 △3時間目ワークシート</p> <p>◆必要があれば、調べたことの途中経過を共有し、様々なものの選び方や買い方があることに気づく</p> <p>◆インターネットでの買い物や多様な支払い手段にも気づけるようにする</p> <p>◆JIS マーク等の買い物の判断基準になるものを、資料をもとに理解する</p> <p>・「安いものが良い」とならないようSDGsの視点に気づく</p> <p>△テキストP15 △3時間目ワークシート</p>



	投影用スライド	○学習活動	◆指導のポイント △使用するもの
まとめ	 <p>3 もの選び方や買い方には たくさんの選択肢があります</p> <p>4 これまでの学習を振り返って 買い物マスター 5 か条を作ってみよう</p>	<p>(6)買い物マスター5か条をつくり、本単 元をまとめる</p> <p>○これまでの学習を振り返りながら、 買い物マスター5か条を作成する</p> <p>○本時の学習感想を書く</p>	<p>◆これまでの学習を振り返り、「お金が大 切な理由」「お金のルール」「ものの選 び方、買い方」を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>△テキストP16-17 △3時間目ワークシート</p> </div>



# 小単元1「お金ってなに？」 授業実施用スクリプト(例)

「」授業者発言 ■児童の反応予測 (☆発言間の行動)

(0)はじめに

「こんにちは。」(☆自己紹介、適宜雑談)

「それでは、本日の授業を始めたいと思います。」

「よろしくおねがいします。」

(1)学習課題をつかむ

「早速ですが、今日はお金についてみなさんと考えてみたいと思います。みなさんはお金は大切だと思いますか？」

■大切だと思う！

「それはなぜでしょうか？なぜお金は大切だと思いますか？」

■わからない

■お金があれば欲しいものが買えるから

「そうですね、お金は大切だとよく聞きますが、よくよく考えてみるとなぜ大切なのかはあまりはっきりとはわかりませんね。」

(☆めあてを書きながら)

「今日の授業では、なぜお金が大切なのかについて考えてみたいと思います。」

(2)物々交換の大変さを実感する

○ゲーム「カレーをつくろう」ver1を行う

○ゲームの説明～開始

「みなさんはお金がなかった時代があったのは知っていますか？お金がつけられるまでの間、人々はどのように欲しいものを手に入れていたと思いますか？」

■自分たちでとってくる

■つくる

■人からもらう

■交換する

「そうです。いま言ってくれたように、昔、お金がなかったころ、多くの人は欲しいものを手に入れるために、物と物を交換していました。これを物々交換と言います。」

「ではまず、お金がなぜ大切なのかを考えるために、物々交換を使ったゲームをしてみましょう。」

「早速ですが、今日のゲームは料理の材料を集めるゲームです。」

「ここに食べ物がかかれたカードがあります。これはなんでしょう？」

■ニンジン

(☆‘ニンジン’の材料カードを見せながら)「にんじん嫌いな人？」

■玉ねぎ

(☆‘玉ねぎ’の材料カードを見せながら)「玉ねぎ嫌いな人？」



## ■ジャガイモ

(☆‘ジャガイモ’の材料カードを見せながら)「ジャガイモ嫌いな人？」

## ■肉

(☆‘肉’の材料カードを見せながら)「これは少ないかな？」「お肉嫌いな人いる？」

## ■ごはん

(☆‘ごはん’の材料カードを見せながら)「これも少ないかな？」「ごはん嫌いな人？」

## ■カレールー！

(☆‘カレールー’の材料カードを見せながら)「嫌いな人はいる？」

「今日は、この6種類の具材のカードを集めて、カレーを作るゲームをしたいと思います。」

「では、机の上の物はすべてしまってください。」(☆できたか確認)

「班の形をつくってください。」(☆班づくり※1班6人以下。違う場合は班を微修正する。)

「では、この班で実際にゲームをやりながらルールを説明しますので、みんな1度立って、この班のまわりに集まってください。」(☆移動)

「このカードを各班に配りますので、この机の上を、市場(マーケット)と呼びます。スーパーマーケットっていいですね。このマーケットに、このカードを全部、カラー面を上にして広げてください」

(☆材料カードを、カラー面を上にして、1班分すべて机の上に広げる)

(☆カードを全部広げたら、材料カードを集めながら)

「いいですか？ここから重要です。まず、自分の体の前に、同じ材料のカードをカラーの面を上にして6枚ならべてください。「例えば、好きなカードでいいので、あなたは‘肉’、あなたは‘ジャガイモ’というように、種類がわかるように、並べてください。」

「班が5人のところは、1種類のカードはマーケットに出しておいたままで大丈夫です。」

(☆各時材料カードを並べる)

「でも、今持っている材料だけでは‘カレー’はできませんね？」

「全部で6種類ある材料をすべてそろえると‘カレー’が完成します」

「だから、自分の材料カードを机の上のマーケットにある欲しい材料と交換して、6種類の材料を集めます。」

「実際にやってみましょう。じゃんけんで順番を決めます。勝った人から時計まわりですすすめます。先生が一番だとしますね。」

(☆自分の持っている‘ジャガイモ’の材料カードをマーケットに出して‘肉’を手に取りながら)

「例えば‘肉’が欲しくて、自分の持っている‘ジャガイモ’をマーケットで、肉に換えようとしても簡単には交換できません。」

「マーケットでは、お互いが交換していいものの場合のみ交換することができます。」

「これは先ほどでできた物々交換ということですね。」

「マーケットに置いてある材料カードが何となら交換できるか、裏を見ると分かります。」

(☆マーケットの‘肉’の材料カードをめくりながら)

「例えばこの‘肉’の材料カードの裏をみると、このカードは‘ご飯’がほしいので交換できません。」

(☆‘肉’の材料カードを戻しながら)

「その場合、戻します。」



「時計まわりでまわっていくので、次はあなたです。」

「あなたは自分の持っている‘ニンジン’と何を交換したいですか？」

■タマネギ！

「‘タマネギ’ですか？じゃあ‘タマネギ’のカードをめくりませんが、ここで注意が必要です。」

「交換するときに自分の材料カードの裏は関係がありません。」

(☆マーケットの‘タマネギ’の材料カードをめくりながら)

「机の上のマーケットにでているカードの裏が‘ニンジン’だったら交換成立です。」

(交換をみせながら)

「交換成立だった場合は、自分の‘ニンジン’のカードを1枚、机の上のマーケットにだして、交換成立になった‘タマネギ’のカードを手に入れます。」

「このように交換していき、6種類すべての材料カードが揃ったらカレーが完成するのでアガリです。」

「先生が時間を計っているので、あがった人がいても時間になるまでは続けてください。」

「1位があがっても2位、3位と時間がかかるまで、あがれるまで続けてくださいね！」

「今までの説明でわからない人はいますか？」

(☆わからないという挙手がないことを確認※質問には答える)

「それではみなさん、席に戻って班をつくってください。」

(☆移動)

「班がつくれたら、もう1度先生に注目してください。」

「体ごと先生の方にむけてください。」

「では、今から各班に材料カードを配ります。」

(☆材料カードを各班に配る)

「材料カードをマーケットに広げたら、1人1種類で6枚ずつ材料カードをとってゲームの準備を完成させてください。」

(☆各班でマーケットをつくる)

(☆各自で1種類6枚の材料カードを手持ち札にする)

「まだスタートしないでくださいね。」

「スタートは一斉にやります」

「じゃんけんして1番最初にスタートする人を決めてください。」

■早く始めよう！

■もう始めていいのかな。

「準備はできましたか？」

■できた！

(☆すべての班に準備が完成したか聞きながら、見回りながら)

「この班は大丈夫ですか？この班は…」

「スタートの人決まりましたか？手をあげて！じゃんけんしてスタート決まった？」

(☆各班の確認がとれたら)

「それでは全員準備が整ったのでゲームをスタートします。」

「ただ、あがった人がいても続けてください。先生が時間をはかっていますから。たくさんあがれるようにがんばってください。」

「よーい、スタート。」

(☆ゲームプレイ)



### ○ゲーム中

(☆各班のゲームの様子をみて回りながら、理解できているかフォロー、声かけしていく)

「さすがにまだあがった人はいませんか？」

「だいじょうぶ？ルールわかんなかったら言ってね」

「5分間です。」

「リーチの人はいますか？」

「ただいま1分経過です。」

「なかなか揃わないようですね。」

(☆ゲームの進行を確認しながら)「あがった人はいますか？」

■まだー。

■あがったよ！

「あがった人が増えてきました。」

「みんながんばりましょう。」「がんばれ、がんばれ」

「残り4分です」「残り3分です」「残り2分です」「残り1分です。」

「30秒前、25秒、20秒、15秒、10秒、5秒4、3、2、1、はいおしまい～」

### ○ゲームver1の振り返り

(☆歓声が少し静まるのを待つ)

「では、また体を先生の方にむけてください。」

(☆全員が話を聞く姿勢ができれば)

「カレーの材料を揃えられた人はいますか？揃えられた人は手をあげてみてください。」

(☆手を挙げている児童を確認しながら)

「揃えられた人たちはすごいですね。」

「どうですか？物々交換で欲しいものを揃えるのは意外と難しかったですか？」

■難しかった

■全然できなかった

「みなさんゲームは楽しかったですか？もう1度、ゲームやってみたいですか？」

■やりたい！

(3)お金の便利さに気づく

### ○ゲーム「カレーをつくろう」ver2を行う

#### ○ゲームの説明～開始

「今度は、ルールが違います」

「お金がなぜ大切かを考えるために、次のゲームではお金に似たものを使ってみましょう。」

「次のゲームではいろいろ交換券というカードを使います。このいろいろ交換券というカードがお金の代わりになります。」

(☆いろいろ交換券の数字面を見せながら)

「まず、いろいろ交換券には数字が描いてあります。」

「これは1ですね。1があるということは？2もあります。3もあります。4はありません。」



「この、1、2、3はのちほど皆さんのテーブルに裏返して配ります」

「この数字は何だと思いますか？」

■カードの番号！

■交換できる枚数

■お金の大きさ

「そう、お金の大きさであり、交換できる枚数です。」

「このカードは使い方が難しいので、今からする説明をよく聞いてください。」

(☆3と描かれたいろいろな交換券を見せながら)

「例えば、この3と描かれたいろいろな交換券を使ってマーケットに出して、マーケットの材料カードを1度に3枚取ることが可能です。」

「もし、2のいろいろな交換券だったら2枚、1のいろいろな交換券なら1枚の材料カードと交換できるということです。」

「さっきと1つ違うところは、いろいろな交換券をだして交換する場合はマーケットの材料カードの裏を見る必要はありません。」

(☆マーケットの材料カードを取りながら)「交換ができれば、誰かのいろいろな交換券がマーケットにでますね？」

「もう一つ違うところは」

(☆マーケットのいろいろな交換券を自分が持っている3枚の材料カードと交換しながら)

「3のいろいろな交換券がマーケットにあったら、自分の材料カード3枚といろいろな交換券を交換して、いろいろな交換券をとることができます。」

「このいろいろな交換券は、マーケットに出して交換することもできるし、マーケットから自分の手持ちにためたりして、あとで使うこともできます。だしたり、ひいたり、だしたり、ひいたりできます。」

「ここまでいいですか？」

今から、「いろいろな交換券」を配りますので、1回目と同じように、同じ種類の6枚のカードを体の前にならべて準備してください。

「そして、もうひとつ大事な点があります。」

「1回目のように、手持ちの材料カードが6枚ではありません。」

「何だと思いますか？」

「手持ちのカードが材料カードの枚数といろいろな交換券に描かれた数字を合わせて6になるようにしてください。」

(☆1のいろいろな交換券を見せながら)

「例えば、自分のいろいろな交換券が1の人の場合、今度のゲームでは1のいろいろな交換券とジャガイモのカードは何枚だと思いますか？」

■5枚！

(☆ジャガイモの材料カードを5枚取りながら)

「そうですね。5枚になります。」

(☆3のいろいろな交換券を見せながら)

「もし私が3のいろいろな交換券をもらった人だったら、ジャガイモは何枚ですか？」

■3枚！

(☆ジャガイモの材料カードを3枚取りながら)「そうですね。3枚です。」

「先程のゲームでは手持ちのカードはジャガイモの材料カードを6枚でしたが、このように、いろいろな交換券の数字と材料カードの枚数を足し算して、必ず6になるように揃えてください。」

「わかりましたか？」



「今から、各班にいろいろ交換券裏向けにして配ります。ただし、どの数字のいろいろ交換券が渡るかはわかりません。1人1枚ずつ引いて、スタートの準備をしてみてください。」

(☆いろいろ交換券を配布)

「準備ができましたか？」

「もしわからない人や間違っている人がいたら班の中で教えてあげてください。」

「そろえられましたか？班の人は全員大丈夫ですか？」

■準備できました！

(☆各班準備がきちんとできているかを見てまわりながら)「この班は大丈夫ですね。この班は……。」

(☆準備が完成したら)

「はい、ではまた先生の方に顔を向けてください。」

「何か質問はありますか？」

(☆質問に答え終わったら)

「わからないことがあったら手をあげて聞いてください。」

■ありません。

### ○ゲーム中(2回目)

「それでは、2回目のゲームを始めましょう。」

(☆各班のゲームの進行状況を見てまわりながら)

「もうリーチですか？みんな、もうリーチの人がでていますよ。速いですね。」

「いろいろ交換券を貯めていくタイプの人もありますね。」

「どうですか？揃った人いますか？」

■あがったー！

「はい、あがりの人が出始めました。」

「2人目、3人目…みんなとても速いですね。」

「あがった人はいますか？」

「あがった人が増えてきました。」

「みんながんばりましょう。」「がんばれ、がんばれ」

「残り4分です」「残り3分です」「残り2分です」「残り1分です。」

「あと30秒です。20秒、15秒、10秒、5、4、3、2、1、はい、おしまいです。」

### ○ゲームの振り返り(2回目)

「はい、ではカードを集めましょう。班でカードをまとめて誰か一人が前に持ってきてください。」

「ありがとうございます。では、机をもとに戻しましょう。」

(☆机が戻り、着席したら)

「全員体をこちらに向けてください！」

「では質問します。1回目と2回目、ゲームで違ったことは何でしたか？」

■簡単になったこと！

■いろいろ交換券があったこと！

(☆いろいろ交換券という答えがでたら)

「いろいろ交換券があったことですね。」

「1回目のゲームと比べて、いろいろ交換券があるとどうでしたか？」

■簡単だった！



■一気に換えられた！

■あっという間だった！

(☆速く終わった、あっという間だったという答えを引き出せたら)

「そうですね。いろいろ交換券があると交換が簡単になりましたね。」

「いろいろ交換券は何の代わりでしたか？」

■お金

「そうですね。お金です。お金はいろいろなものと交換ができて、あると交換がとっても楽になるんですね。」

#### ○お金の基本的な3つの機能について知る

「ゲームでわかったように、お金っていうのはいろいろなものと交換できます。」

「1回目のゲームはこの材料はルーとしか換えられないなどの制限があったけど、いろいろ交換券を使ったら何とでも換えられましたね？お金にはいろいろなものと交換できるという機能があるということです。」

(☆‘交換’とピックアップして板書をする)

「それから、いろいろ交換券を貯めて、まとめて使っていた人がいたように、貯めておいて使いたいときに使えるという機能もありますね。みなさんも貯金をしたことがありますか？」

■ある！

(☆‘貯蓄’とピックアップして板書をする)

「それに物は腐ったり、劣化したりするけど、お金は腐らないから長く持っていることができますね。」

「いろいろなものと交換することができて、貯めて使いたい時に使えるから、お金は便利だということです。みなさんの生活でもお金を使う場面はたくさんありますね。」

(☆資料をひらきながら)

「資料を見てみてください。」

「お金には交換、貯蓄という機能以外にも、尺度という機能があります。」

「これは、お金があることで物の価値を正確にはかることができますということです。」

「お金があれば、鉛筆1本〇〇円といったように、ものの価値を数値で表すことができますが、お金がなければ価値の基準がわからなくなってしまいます。」

「鉛筆1本1万円と言われたら、きっとみんな高い！と思いますよね。でも、ボール1個と鉛筆1本交換しますと言われてもよくわかりませんよね。」

「このようにお金には、交換機能、貯蓄機能、尺度機能という3つの基本的な機能があります。」

「お金にはこういった機能があることで、みなさんの日常生活が楽に、便利になるということです。」

#### (4) お金が大切な理由についてまとめる

##### ○お金が大切な理由について振り返り、まとめる

「じゃあ実際にみんなの生活の中で、お金と交換できるものってどんなものがあると思いますか？」

■お菓子

■おもちゃ

■電気

「そう、実はみんなの身の回りにもたくさんのお金で交換できるものがありますね。」

「他にはどうだろう？実はみんなの生活の中でははっきりと目には見えていないけど、実はお金と交換しているものもたくさんあるんだけど、他にはどんなものがあると思いますか？」

■なんだろう？



(☆資料を開きながら)

「形があって見えるものでも食べものや飲み物、皆がいつも着ている服や学校で使う筆記用具、箸やフォークなどの日用品、テレビやゲーム、おもちゃ、家もだね。」

「それから形がないものや見えにくいものでも、電気や水道などの光熱費、税金って知ってる？税金や保険などの支え合いの仕組み、それから遊ぶときに使うお金、習い事とか、旅行、電話やインターネットなどの通信費、病院などもお金と交換していますね。」

「実は日常生活のほとんどのものがお金で交換することができるんですね。」

「お金って本当にみんなの生活を支えているとっても大切なものなんだね。」

■お金じゃないと交換してもらえないものも多いよ

■お金ってないと困っちゃいそう

「こうみると確かにお金ってないと困ってしまいそうだね」

「でも、みんなはこんなに大切なお金、このお金を無限に使っていつでも、なんでも好きなものにお金を使うことができる？」

■できない

「そうだよね。ちなみに世の中に無限にお金を使える人っていると思いますか？」

■王様とか？

■総理大臣とか？

■いないと思う

「そう、実は世の中にお金を無限に使える人はいないんですね。」

「なぜかという、お金は働いて得た収入の分だけしか使えないからですね。」

「お金は便利で生活を支えてくれているけど、限りがあるものなんだね。」

(☆板書しながら)

「それではまとめです。お金には生活を便利にする3つの機能があり、私たちの生活を支えてくれているけれど、自分たちが使えるお金には限りがある。だからこそお金は大切だということがわかりました。」

#### ○本時の感想を書く

「では今日の授業の終わりに感想を書きましょう。」

「今日学んだことや気づいたこと、初めて知ったことやこれから活かしたいことなど、感想を書いてください。」

(☆感想を書き終えるのを待つ)

「では今日の授業はここまでです。」

「ありがとうございました。」



